

大阪府立箕面東高等学校 令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立箕面東高等学校
校長名	末永 惣彦

開催日時	令和6年7月12日(金) 14:00 ~ 15:15
開催場所	箕面東高等学校 校長室
出席者(委員)	伊東委員、篠崎委員、島本委員、須貝委員、宗山委員
出席者(学校)	末永校長、川上教頭、磯田教頭、宮守首席、山田首席、矢野教諭 藤井教諭、笠原教諭、浅野教諭
傍聴者	
協議資料	1. 学校運営協議会実施要項 2. 令和5年度進路実績一覧 3. 高等学校DX加速化推進事業[DXハイスクール]関係資料 4. 令和6年度学校経営計画 5. 令和7年度使用教科書一覧表
備考	

〇・・・委員の方の発言

＊・・・本校教員の発言

議題等(次第順)

【報告事項】

1. 箕面東高校の状況

・BMX部について(宮守)

＊BMXプロライダーの志賀勇也氏を特別非常勤講師としてお招きし、選択授業や、BMX部の活動の中でご指導いただくことになった。5月に授業を実施したが、全員が楽しく活動していた。年間10回ほど指導に来ていただく。→特色ある学校づくりへ

＊全校生徒を対象に行った志賀勇也氏の講演会の模様は、関西テレビで放送された。

〇とてもいいところに目をつけたな、という印象。生徒たちにとってとても興味関心のある分野だが、なかなか指導者がいないという現状があった。BMX部を立ち上げることによって、プレイヤーだけでなくそれを支える音楽や映像を作成する人たち(アート・文化)も関わるができるなど、また新たな運動部の形になって面白いと思う。

・novel部活アカデミー(宮守)

＊6月にもプロトレーナーの方に来ていただき、イベントを行った。

部活動数の減少や、府立高校の定員割れというマイナスの要素を、掛け合わせることで何かプラスに変えられないか、という思いから生まれた。

探究活動部の生徒たちがイベントに関わり、活躍した。

→「よりよい部活動の形」「新しい部活動の形」をリノベーションしていきたい
8月2日、3日にも大きなイベントを開催予定。
→企画・運営に探究活動部の生徒が関わっていくことで、生徒たちの成長にもつなげたい。

・スタディツアーin 韓国（宮守）

*今年度は3月11日～14日の3泊4日で実施する予定。

昨年度は2泊3日で行ったが、参加した生徒の満足度がとても高く、「また参加したい」「もっと（韓国に）いたかった」という声が多かったことから、今年度は日数を増やして実施する予定である。帰国後には、参加生徒たちによる全校生徒に向けた報告会も行った。

2. 令和5年度の進路実績について（矢野）

*前年度の傾向として、大学進学希望者が減少し、就職希望者が増加している。

*大学進学者の大半は指定校推薦を利用している。総合選抜入試を利用する生徒や、一部だが一般受験をする生徒もいた。

*AO入試での進学がとても多くなった。

*看護・医療系に10名程度が進学しており、本校の強みとしてこの部分も推していきたい。

*今年度は現時点で就職求人は800件ほど来ている。

*昨年度の就職希望者の傾向を見ると、大企業にチャレンジするよりは、面倒見のよい中小企業を希望する生徒が多い印象。

○中学校でも、「将来就きたい職業」をイメージしたうえでの高校選びを指導している。

○大学生に就職指導を行うときも、コミュニケーション力を重視している。

○高校のカリキュラムは、いつから進学と就職が分かれていくのか。

*本校は総合学科なので、幅広い科目の中からそれぞれが希望進路に合わせて選択していく。3年生の6限目に行っている進路指導会のみコース別に分けて指導している。

・高等学校DX加速化推進事業 [DXハイスクール]（川上・山田）

*1000万円という限られた予算の中で、できるだけ生徒に役立つものを、という思いから使い道を決めた。目玉は会議室に設置するSmartInfill。（大型プロジェクター）→国際交流事業などでも活用していく

○現在様々な場所で大型のスクリーンが活用されている。生徒たちへの効果も大きいと思うので、それを地域にも広げていけるような活用を。

【協議事項】

1. 令和6年度学校経営計画について（校長）

*基本的には前回の学校運営協議会で承認されたものから変わっていない。

*第1回の授業アンケートが先日終了。今年度はGoogle フォームを使って実施したため、スムーズに集計することができた。第1回アンケートの全教員の平均値は3.49だった。

*国際交流活動の一環として、7月22日には大阪城ストリートインタビューを行う。

*クラブ活動の入部率は6月1日時点で約43%。

今年度も部活動入部率の向上するため、約2週間の仮入部期間を設け、教員からも積極的な声掛けを行った。

○今はアナログからデジタルに移る過渡期。バランスよく組み合わせることで、生徒たちの無限の可能性を引き出していけるのではないかな。

2. 教科書選定について（藤井）

*本日の資料にあるのは教科書のみ。副読本は12月頃に選定する。

*昨年度より1年生が履修する英語が「ST 英語」となったことにより、英語の選定教科書に変化がある。

*デジタル教材も増加。

○中学校も今年教科書採択。箕面市内はほぼ同じ教科書を使用するため、市内の教員が集まって決定するが、高校は各学校で決定するのか。

*高校は文科省及び府教育委員会が認めた教科書の中から各学校が採択する。

○市内の図書館などでも教科書に対する一般市民の関心は増えている。どのような視点で教科書を選んでいるのかは気になる。

*エンパワメントスクールであるので、生徒にとって「わかりやすいもの」であるかどうかを重視している。（図や表など）